

令和2年度 新入生ガイダンス

セルフ
ラーニン
グ版

法律経済
学科

全体説明

教務委員兼学科長の
古屋です。よろしく
お願いいたします。



(1) ごあいさつ

- 新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。今年度は、感染症対策のため、新入生ガイダンスを簡略化し、**事前に資料でセルフラーニング**いただいた後に、学部ごとのミニマムガイダンスを開催し、事前学修の内容を確認することになりました。
- 自分ではよく分からない部分もあると思いますが、1年次に履修する科目は限られていますし、1年次からの少人数教育（=大学入門ゼミ）で、履修指導ほかの相談機会がありますので、ご安心ください。

全体説明

冊子の表紙の色ごとに分けていますので参考にしてください



(2) 準備

- ・このファイルの他に、以下の資料を使用しますので、お手元に用意してください。

- ① 『令和2年度大学共通教育履修案内』 → 以下、「履修案内」と略
- ② 『大学共通教育開講授業科目一覧』 → 以下、「授業科目一覧」
- ③ 『人文社会科学部履修要項』 → 以下、「履修要項」
- ④ 『専門科目の授業計画』 → 以下、「授業計画」

※これらをまとめて「シラバス」ということがあります。①と③は4年間使用しますので、無くさないようにしてください。

全体説明

以下は郵送した資料
です。あわせて参照
してください。



(2) 準備

・その他、以下の資料も使用します。

- ① 「学部基礎科目希望申告票」
- ② 「大学入門ゼミクラス表」
- ③ 「情報リテラシーアンケート」
- ④ 「1年生時間割作成シートの記入手順」
- ⑤ 「新入生ガイダンス時間割作成シート」

郵送した資料に
同封しましたが、
実際に提出・使
用するのは4月23
日（木）開催の
ミニマムガイダ
ンスになります。

全体説明

ちょっと長いので、3部位にわけて理解してください。



(3) 目次

- ・でははじめましょう。このセルフラーニング資料は、以下の項目からなります。

I カリキュラム説明・第1部	6頁～
II カリキュラム説明・第2部	23頁～
III カリキュラム説明・第3部	29頁～
IV 大学入門ゼミと学生担任	59頁～
V 授業時間割の作成と履修相談	62頁～
VI 施設案内	67頁～

全学教育機構の「セルフラーニング」と重複する部分もありますが、確認しながら、あわせてご覧ください。

I カリキュラム説明・第1部

1. 基本事項

2020年度前学期のみの
変更があります
(赤字部分)

(1) 学年暦と2学期クォーター制

① 学年暦・履修カレンダー (次頁以下、参照)

→ 時間割 (100分)、振替曜日、試験期間、予備日などに注意!

② セメスター制 (1/2期) ・ 学期制とクォーター (1/4期) の併用

③ 前学期 (14週) = 第1Q (7週) + 第2Q (7週)

後学期 (16週) = 第3Q (8週) + 第2Q (8週)

④ 授業時間 (本スライド9頁、参照)

(2) 大学からの連絡 → 学部掲示板、大学メール、教務情報ポータルへの連絡に注意!

令和2年度 履修カレンダー

(前学期)

4/30授業開始 授業時間100分

日	月		火		水		木		金		土	事項
	クォーター 開講 日	セメスター 開講 講義 回数	クォーター 開講 日	セメスター 開講 講義 回数	クォーター 開講 日	セメスター 開講 講義 回数	クォーター 開講 日	セメスター 開講 講義 回数	クォーター 開講 日	セメスター 開講 講義 回数		
					1		2		3		4	4/1 学年開始・前学期開始 4/6 ~5/20 履修登録期間 4/21~24 新入生学部別ガイダンス 4/27,28 在学生ガイダンス 4/30 前学期・第1Q授業開始
4月	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
	19	20	21 新入生学部別 ガイダンス	22 新入生学部別 ガイダンス	23 新入生学部別 ガイダンス	24 新入生学部別 ガイダンス	25	26	27 在学生ガイダンス	28 在学生ガイダンス	29	
	26	27	28	29	30 ① ①							
5月	3	4	5	6	7 ② ②	8 ② ②	9	10	11 ① ①	12 ① ①	13 ① ①	
	17	18 ② ②	19 ② ②	20 ② ②	21 ④ ④	22 ④ ④	23	24	25 ③ ③	26 ③ ③	27 ③ ③	
	24	25 ③ ③	26 ③ ③	27 ③ ③	28 ⑤ ⑤	29 ⑤ ⑤	30	31				

4月30日（木）から
授業が開始されます

6月		1	④	④	2	④	④	3	④	④	4	⑥	⑥	5	⑥	⑥	6	予備日	6/3 第1Q・前学期開講科目削除締切 6/6 予備日	
	7	8	⑤	⑤	9	⑤	⑤	10	⑤	⑤	11	⑥	⑥ (火曜授業)	12	⑥	⑥ (水曜授業)	13	⑥	⑥ (月曜授業)	6/13 月曜授業
	14	15	⑦ 試験	⑦	16	⑦ 試験	⑦	17	⑦ 試験	⑦	18	⑦ 試験	⑦	19	⑦ 試験	⑦	20	TOEIC	6/15~6/26 第2Q開講科目履修登録期間 6/20 TOEIC一斉テスト(3年次対象)	
	21	22	①	⑧	23	①	⑧	24	①	⑧	25	①	⑧	26	①	⑧	27	6/22 第2Q授業開始		
	28	29	②	⑨	30	②	⑨													
7月								1	②	⑨	2	②	⑨	3	②	⑨	4	TOEIC	7/4 TOEIC一斉テスト予備日(3年次対象)	
	5	6	③	⑩	7	③	⑩	8	③	⑩	9	③	⑩	10	③	⑩	11			
	12	13	④	⑪	14	④	⑪	15	④	⑪	16	④	⑪	17	④	⑪	18	7/17 第2Q・通年開講科目削除締切		
	19	20	⑤	⑫	21	⑤	⑫	22	⑤	⑫	23	——	——	24	——	——	25			
	26	27	⑥	⑬	28	⑥	⑬	29	⑥	⑬	30	⑤	⑫	31	⑤	⑫				
8月																	1	予備日	8/1 予備日	
	2	3	⑦ 試験	⑭ 試験	4	⑦ 試験	⑭ 試験	5	⑦ 試験	⑭ 試験	6	⑥	⑬	7	⑥	⑬	8			
	9	10			11	⑦ 試験	⑭ 試験 (木曜授業)	12	⑦ 試験	⑭ 試験 (金曜授業)	13			14			15	8/13~9/20 夏季休業 夏季休業期間中、教職等夏期集中講義あり		
	16	17			18			19			20			21			22			
	23	24			25			26			27			28			29			
	30	31																		

2020年度前学期に限り授業時間が10分延長します

《令和2年度前学期の授業時間(1講時100分)》

講 時	開始時刻 ~ 終了時刻
第 1 講時	8:40 ~ 10:20
第 2 講時	10:30 ~ 12:10
昼休み	12:10 ~ 13:00
第 3 講時	13:00 ~ 14:40
第 4 講時	14:50 ~ 16:30
第 5 講時	16:40 ~ 18:20
第 6 講時(工学部フレックスコース)	17:15 ~ 18:55
第 7 講時(工学部フレックスコース)	19:00 ~ 20:40

I カリキュラム説明・第1部

2. 概要 (『履修要項』1頁)

(1) 人文社会科学部の教育理念・教育目的

人文社会科学部では、文系総合学部としての特徴を生かし、主専攻であるメジャーと副専攻であるサブメジャーの複合による学修を通じて、人間の文化と社会活動に関する専門性を持ちながら、世界のさまざまな「地域」で生き生きと働き、活躍できる人間を育てます。そのために、教育目的として以下の3点を重視します。

- (1) 学生の多様な関心に応える幅広い分野の体系的な専門教育を行います。
- (2) 広い視野、専門的な知識・スキル、実践的・汎用的能力を持った人材を養成します。
- (3) 地域課題解決を意識し地域経営力を身に付けた人材を養成します。

I カリキュラム説明・第1部

2. 概要 (『履修要項』1頁)

(2) 教育課程 (以下、①+②の二つのプログラム)

① 基盤教育科目 (『履修案内』3頁)

② 専門科目 (『履修要項』33-36頁参照)

(3) 卒業資格 (『履修要項』33頁参照)

(4) 後学期ガイダンス →後学期開講の授業については、別途後学期ガイダンスを開催して説明する予定です。

このスライドではさしあたり、カリキュラムの概要と前学期開講の授業についてご理解ください。



I カリキュラム説明・第1部

3. 履修上の注意 (『履修要項』3-20頁)

(1) 単位について (『履修要項』3頁)

- ①各授業科目は、45時間の学修をもって1単位と定められています。
- ・例えば、2単位科目であれば、90分(=2時間換算、以下同)の授業にあたり、90分の予習と90分の復習を15回行う必要があります。

※2単位 = 予習90(=120)分 + 授業90(=120)分 + 復習90(=120)分
× 15

授業の種類	単位数	授業回数	授業時間	予習復習
講義・演習	1単位	8回	15時間	30時間
	2単位	15回	30時間	60時間
実験・実習・実技	1単位	15回	30時間	15時間

I カリキュラム説明・第1部

3. 履修上の注意 (『履修要項』3-20頁)

(1) 単位について (『履修要項』3頁)

② 単位習得の評価基準

- ・ **A+、A、B、C=合格、D=不合格**

※出席時間数が2/3に満たない場合や履修登録をしていない場合は、原則として単位認定されません。また、一度記録された成績は、原則として変更できません。

※履修登録したのに履修しなかった場合(=欠試)や、成績が良好でない場合は、後述する**GPA**(成績評価に応じた評点)も低くなり、将来のメジャー選択などで不利益を受けることがあります。

評語	評価基準
A+	90点以上 100点満点
A	80点以上 90点未満
B	70点以上 80点未満
C	60点以上 70点未満
D	60点未満

I カリキュラム説明・第1部

3. 履修上の注意 (『履修要項』3-20頁)

(1) 単位について (『履修要項』4頁)

② 単位習得の評価基準

(5) GPA (Grade Point Average) について

GPA(Grade Point Average)とは、履修科目の成績評価 (Grade) に応じて評点(Point)を付与し、単位の重み付けをした平均 (Average) のことで、数値で示されます (最大値 4.50 点)。GPA は、学習成果を示す一つの指標です。成績通知表には、学期 GPA・通算 GPA が記載され、成績証明書には通算 GPA のみが記載されます。

GPA は、成績評価 (100 点満点) を GPA の基礎的数値として、以下の算定式により算出します。

$$GP \text{ (Grade Point)} = (100 \text{ 点満点の得点} - 55) / 10 \quad (\text{ただし } GP=0.5 \text{ 未満は } 0.0)$$

$$GPA = \Sigma (GP \times \text{当該履修科目の単位数}) / \Sigma (\text{履修科目の単位数})$$

※100 点法で成績が出せない科目や卒業要件外の科目 (教職に関する科目など) は、GPA の対象となりません。

履修登録したのに途中でやめてしまうとGPAも下がってしまいますので、注意してください。



I カリキュラム説明・第1部

3. 履修上の注意 （『履修要項』3-20頁）

(1) 単位について （『履修要項』4頁）

③成績評価に関する問い合わせ

a)成績評価に関する問い合わせ

→担当教員にメールなどで照会して確認するか、なお不明な場合は、学務係（「成績評価に関する確認書」）を通じて確認してもらうことができる。

b)成績評価に関する異議申し立て

→成績評価の問い合わせ後も、なお誤記入や評価に疑義がある場合に限る。

出席は成績に加点しませんし、6割以上とらないと単位認定されません。



I カリキュラム説明・第1部

3. 履修上の注意 (『履修要項』3-20頁)

(2) 履修科目の申告および履修登録 (『履修要項』4頁)

①履修登録

・登録期間中に**教務情報ポータルシステム**を利用して登録

※事前にクラスが決定している科目は、自動で登録されます。

※クラス分けの調整を行う授業（基盤教育科目の一部）は、調整結果に応じて自動登録されます（後述）。

②「履修科目申告票」の提出

・履修科目が決定したら、教員に「履修科目申告票」を提出します。

※学部基礎科目（後述）については不要です。

I カリキュラム説明・第1部

3. 履修上の注意 (『履修要項』3-20頁)

(3) 履修申告単位数の上限 (CAP制) (『履修要項』5頁)

- ・ 半期の履修申告単位数の上限 = 23 (年間46) 単位が目安

※事前にシラバスをよく読んで履修科目を選択すること

※履修科目数、履修年次が決まっている科目があるので注意！

(4) 履修登録の修正と取消

- ・ 前後学期のセメスター、第1・第3クォーター開講科目の取消は所定の授業登録修正期間内に
- ・ 第2クォーター開講科目：2020年7月3日（金）《予定》

I カリキュラム説明・第1部

3. 履修上の注意 (『履修要項』3-20頁)

(5) 試験 (『履修要項』5~6頁)

・ 期末試験の時間割⇒「履修カレンダー」参照

※1Q・2Q（前学期）、3Q・4Q（後学期）で異なるので注意！

※登録していても、規定回数（原則授業回数の2/3）以上出席していないと、受験することができない（＝欠試）

※試験に代えて、レポート提出の場合は、教員の指示にしたがって期限内にレポートボックスに提出（基盤教育科目と専門科目とで異なります）



不正行為を行うと、懲戒処分を受けるほか、当該学期に履修したすべての授業科目が認定されないことになる！

I カリキュラム説明・第1部

3. 履修上の注意 (『履修要項』3-20頁)

(6) 学生担任と学生アドバイザー (『履修要項』7頁)

① **学生担任**：年次ごとのゼミ担当教員が担任になります

※1年次は大学入門ゼミの教員（同じ教員が後学期の学科基礎ゼミナールも担当します。「**大学入門ゼミクラス表**」参照）。

② **履修アドバイザー**：各メジャー主任（副メジャー主任）

・ 法学メジャー＝高橋大輔先生（付先生）

・ 経済学・経営学メジャー＝清山玲先生（長田先生）

③ **学生生活アドバイザー**

・ ミニマムガイダンス（**4月23日〔木〕**）で紹介します。

I カリキュラム説明・第1部

3. 履修上の注意 (『履修要項』3-20頁)

(7) 卒業研究 (『履修要項』7～8頁)

①登録と提出

- ・所属したメジャー専門ゼミの教員の指導により、卒業年度に提出
- ・別途、「卒業研究」の履修登録を行い、卒業年度のはじめに、「卒業研究題目」を提出
- ・卒業年度の**12月20日**（当日が休日の場合は、次の最初の平日）の**16時まで**に、原則本人が持参のうえ、**2部**、学務グループへ提出

②卒論審査

- ・卒業年度の2月上旬に、主査（担任）と副査による共同審査

I カリキュラム説明・第1部

3. 履修上の注意 （『履修要項』3-20頁）

(8) 転学部・転学科 （『履修要項』8頁）

- ・申請の時期、条件、方法については、別途掲示します。

(9) 他大学・大学以外の教育施設等における学修の単位認定

- ・該当者は、『履修要項』8頁以下により申告してください。

(10) 教育職員免許状に関する履修基準 （『履修要項』12～18頁）

- ・4月24日（金）10:00～10:20 人文10番教室でガイダンス

※正規の単位修得に加えて、追加の単位を必要とします。

※就職活動や各種試験（資格）対策にかかる時間なども勘案のうえ
安易に履修しないように注意してください。

I カリキュラム説明・第1部

3. 履修上の注意 (『履修要項』3-20頁)

(11) 学芸員資格取得に関する履修基準 (『履修要項』19～20頁)

- ・ 4月24日（金）10:00～10:20 人文10番教室でガイダンス

※正規の単位修得に加えて、追加の単位を必要とします。

※授業科目が学科の必修科目の時間割と重複していて履修できないことがあります。

※就職活動や各種試験（資格）対策にかかる時間なども勘案のうえ 安易に履修しないように注意してください。

II カリキュラム説明・第2部

1. カリキュラム (『履修要項』21-24頁)

(1) **ディプロマ・ポリシー**《DP》(卒業認定・単位授与方針)

- ・卒業時に最終的に身に付けておいて欲しい能力です。
- ・人文社会科学部では、5つの領域に分かれています。

(2) **カリキュラム・ポリシー**《CP》(教育課程編成・実施の方針)

- ・上記のディプロマ・ポリシーを涵養するために、各授業をどのように編成するかという方針です。
- ・授業の到達目標(重点)を6つの観点から知ることができます。

※各授業のシラバスに記載されていますので、ご覧ください。

II カリキュラム説明・第2部

1. カリキュラム (『履修要項』21-24頁)

(3) メジャー・サブメジャー制 (『履修要項』23～24頁)

① メジャー (主専攻)

・ 法学、経済学・経営学の2メジャーがあります。

※1年次の12月～1月にメジャー選択の申告を行い、定員の超過がなければ、1月に所属メジャーが決定します。

※各メジャーの定員は、現教員数×7で算定しており、両メジャーとも教員数はほぼ同数ですので、希望どおり所属できると思いますが、もし定員を超過した場合には、1年次のメジャー要件科目の修得状況とGPA（成績評価の評点）にしたがって調整します。

II カリキュラム説明・第2部

1. カリキュラム (『履修要項』21-24頁)

(3) メジャー・サブメジャー制 (『履修要項』23～24頁)

① **メジャー（主専攻）** 《つづき》

※メジャーごとに卒業に必要な卒業要件が決まっており、メジャー所属が決定していない1年次から履修するメジャー要件科目（メジャー選択にあたり必要な科目、**『履修要項』32頁参照**）もあります。

※希望するメジャーの要件科目を履修することはもちろんですが、他メジャーの科目も卒業要件に組み入れることが可能ですので、両メジャーの要件科目を履修される方が多いようです。

II カリキュラム説明・第2部

1. カリキュラム (『履修要項』21-24頁)

(3) メジャー・サブメジャー制 (『履修要項』23～24頁)

②サブメジャー (副専攻)

a)まず、自学科および他学科が提供するサブメジャーがあります。

※2年次に所属が決定したメジャー以外のメジャープログラムです。
法律経済学科では、自学科の他メジャーをサブメジャーとする学生が半数います。

b)つぎに、サブメジャーのための**専用プログラム**があります。

※法律経済学科では、行政マネジメント研究プログラムを選択する学生が半数います。

II カリキュラム説明・第2部

1. カリキュラム (『履修要項』21-24頁)

(3) メジャー・サブメジャー制 (『履修要項』23～24頁)

②サブメジャー（副専攻）《つづき》

※サブメジャーは3年次冒頭に決定します。卒業のために**16単位以上**必要ですので、1年次から計画立てて履修するようにしてください。

※サブメジャーを複数選択することも可能ですが、履修上限（CAP）や授業外学修時間の確保にも十分注意してください。

II カリキュラム説明・第2部

1. カリキュラム (『履修要項』 21-24頁)

(4) 科目の難易度（レベル）と履修順序 (『履修要項』 24頁)

- ・ 難易度によりレベル1からレベル4まで
- ・ 科目ナンバリング (『履修要項』 73-81頁参照)
→ 部局＋学問分野＋3桁の数字コード（授業の選択の参考にして
ください）

それでは、学科カリキュラムの
詳細について説明しましょう！

III カリキュラム説明・第3部

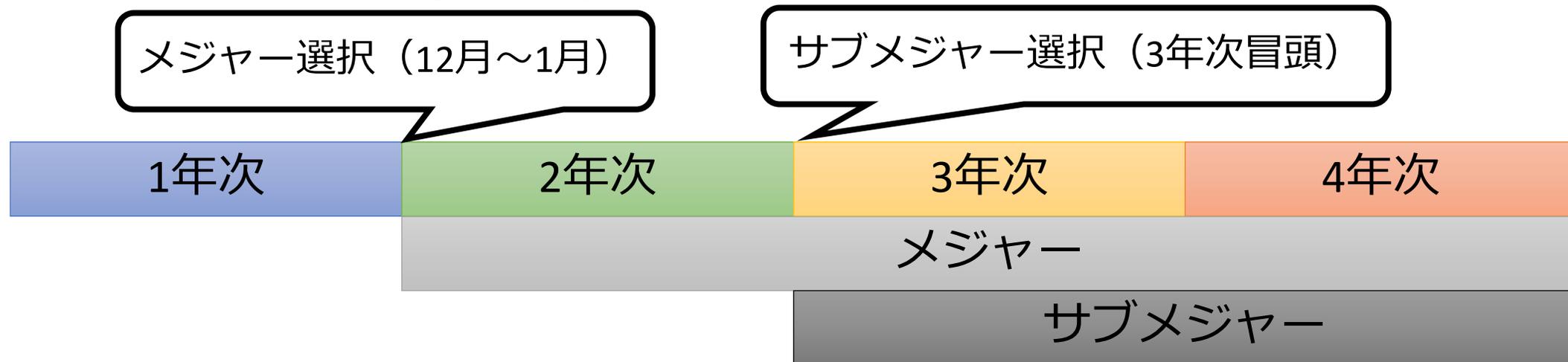
1. 法律経済学科 (『履修要項』31-34頁)

(1) 法律経済学科の教育理念・教育目的

- ・総合的な学修、理論的・実践的な課題解決能力を身に付ける

(2) 法律経済学科のディプロマ・ポリシー《DP》 (『履修要項』31頁参照)

(3) メジャー選択 (詳細は前述)



III カリキュラム説明・第3部

1. 法律経済学科 (『履修要項』31-34頁)

(3) メジャー選択 (手続は前述)

① メジャー要件科目 (37・38頁の概念図も参照)

- ・ 法学メジャー：1年次必修科目＝民法概論、政治学概論Ⅰの全4単位と、学部基礎科目＝入門法律学Ⅰ・Ⅱの全4単位の合計8単位
- ・ 経済学・経営学メジャー：1年次必修科目＝経済学概論Ⅰ、経営学概論の全4単位と、学部基礎科目＝経済学・経営学入門Ⅰ・Ⅱの全4単位の合計8単位

② メジャーの変更

- ・ 定員に余裕がある場合に限り、2年次の2月末までに可

III カリキュラム説明・第3部

1. 法律経済学科 (『履修要項』31-34頁)

(4) 卒業資格最低修得単位

① 基盤教育科目 (26単位)

- ・ 入門科目 (大学入門ゼミ・茨城学) = 計4単位
- ・ 共通基礎科目 (プラクティカル・イングリッシュ(=PE)・情報リテラシー・心と体の健康・科学の基礎) = 計10単位
- ・ リベラルアーツ科目 (多文化理解・自然と社会のつながり・キャリアを考える) = 計12単位

次の頁の「卒業資格最低修得単位」で確認してみてください。



		授業科目区分	単位数	履修年次	備 考	
基 盤 教 育 科 目	入 門 科 目	大学入門ゼミ	2	1年		
		茨城学	2	1年		
		小 計	4			
	共 通 基 礎 科 目	プラクティカル・イングリッシュ	6	1～3年		
		情報リテラシー	2	1年		
		心と体の健康	1	1年		
		科学の基礎	1	1年		
		小 計	10			
	リ ベ ラ ル ア ー ツ 科 目	多文化理解				
		異文化コミュニケーション・初修外国語	3	1～2年		
		ヒューマニティーズ	3	1～2年		
		パフォーマンス&アート				
		自然と社会のつながり				
		自然・環境と人間	2	1～2年		
		グローバル化と人間社会	3	1～2年	日本国憲法を除く	
		キャリアを考える				
		ライフデザイン	1	3年		
		小 計	12			
	計	26				

専 門 科 目 (レ ベ ル 2 ~ 4)	学部基礎科目	12	1年	自学科科目 8 単位必修 他学科科目から 4 単位選択必修
	学科基礎ゼミナール	1	1年	1 科目 (1 単位) のみ履修
	学科専門科目	50	1~4年	50 単位の内、自メジャー科目から 38 単位以上 (メジャー必修科目 (=別表) を含む)、自学科科目からレベル 3 以上の科目 14 単位以上を履修
	メジャー基礎ゼミナール	2	2年	自メジャー科目 2 科目 (2 単位) のみ履修
	メジャー専門ゼミナール	8	3~4年	自メジャー科目 4 科目 (8 単位) を履修
	卒業研究	6	4年	
	計	79		
自由履修	19	1~4年	基盤教育科目 (共通基礎科目「心と体の健康」「科学の基礎」、リベラルアーツ科目のみ)、全学共通科目、専門科目 (他学科、他学部開講科目を含む)	
総計	124			
注：卒業要件として別掲サブメジャー・プログラム (いずれか一つ) の必要単位を含んでいることが必須となります。				

III カリキュラム説明・第3部

1. 法律経済学科 (『履修要項』31-34頁)

(4) 卒業資格最低修得単位 (『履修要項』33頁)

② 専門科目 (79単位)

- ・ 学部基礎科目 (自学科科目8単位、他学科科目4単位) = 計12単位
- ・ 学科基礎ゼミナール = 1単位
- ・ 学科専門科目 (自メジャー科目 [メジャー必修科目含む] から36単位以上、自学科レベル3以上科目14単位以上) = 計50単位
- ・ メジャー基礎ゼミナール = 2単位
- ・ メジャー専門ゼミナール = 8単位
- ・ 卒業研究 = 6単位

III カリキュラム説明・第3部

1. 法律経済学科 (『履修要項』31-34頁)

(4) 卒業資格最低修得単位 (『履修要項』33頁)

③自由履修 (19単位)

- ・ 基盤教育科目 (共通基礎科目 [心と体の健康、科学の基礎]、リベラルアーツ科目のみ)、全学共通科目 (後述)、専門科目 (他学科、他学部開講科目を含む)

※たとえば、必要単位を超えて履修した心と体の健康、科学の基礎の単位、履修年次の単位を超えて履修した異文化コミ・初修外国語の単位 (1年次に2単位、2年次に1単位の合計3単位のところ、1年次に3単位履修した場合は、1単位分が自由履修単位になる)

III カリキュラム説明・第3部

1. 法律経済学科 (『履修要項』31-34頁)

(4) 卒業資格最低修得単位 (『履修要項』33頁)

③自由履修 (19単位) 《つづき》

※3年次から履修するサブメジャー科目のうち、必修科目に該当するもの以外が自由履修の単位に算定されることになるため、1・2年次は、あえて意識して自由履修の単位を充当する必要はない。

サブメジャープログラム16単位以上

他メジャープログラム

サブメジャー専用プログラム

or

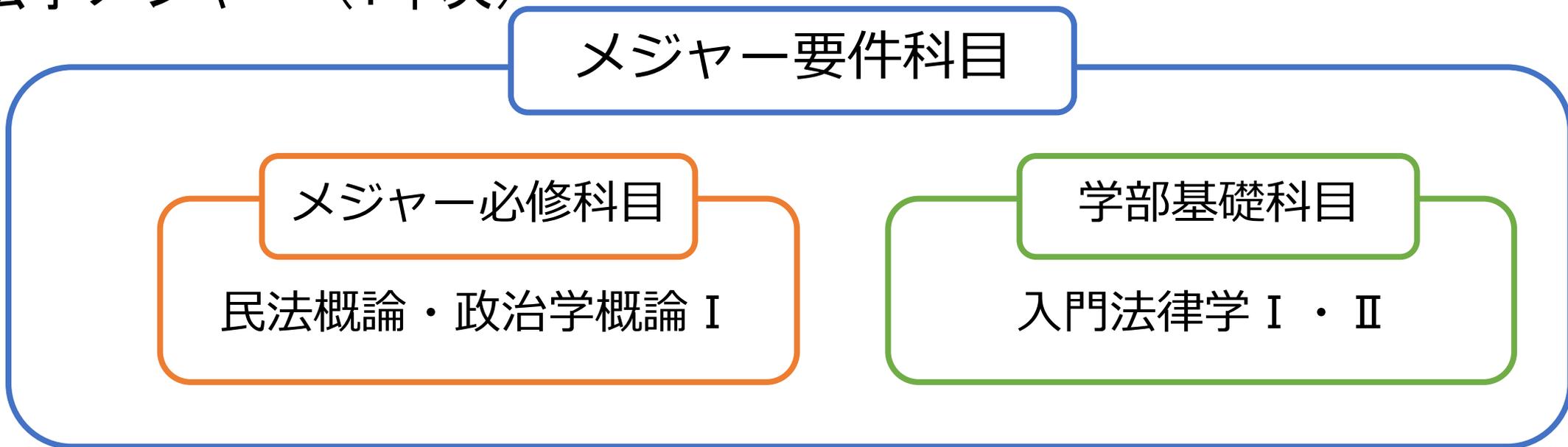
III カリキュラム説明・第3部

1. 法律経済学科 (『履修要項』 31-34頁)

(4) 卒業資格最低修得単位 (『履修要項』 33頁)

※メジャー要件科目

①法学メジャー (1年次)



概念図

III カリキュラム説明・第3部

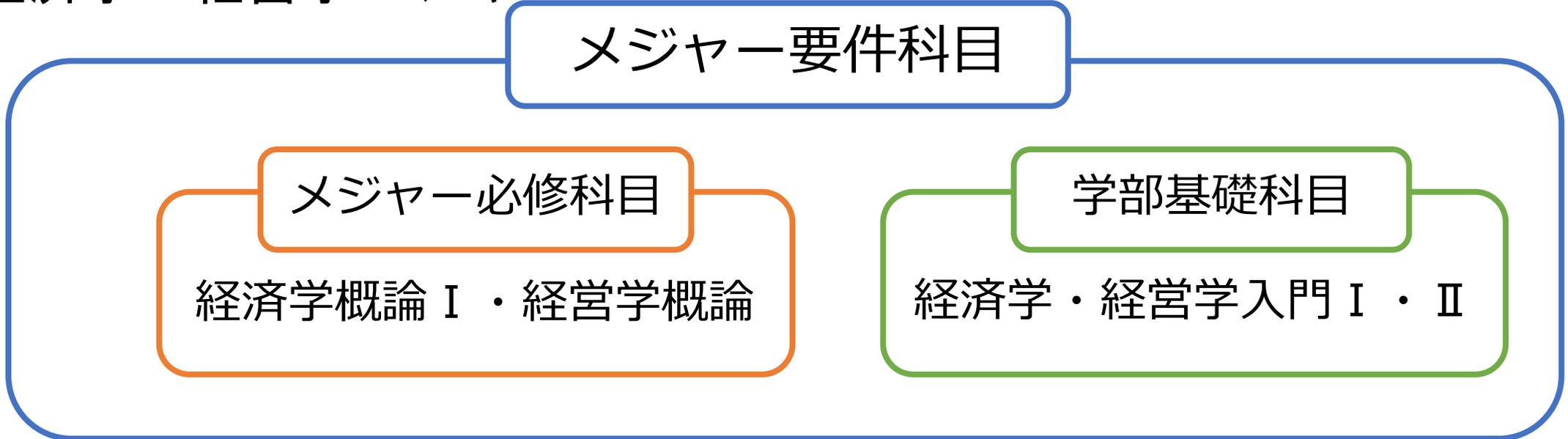
1. 法律経済学科 (『履修要項』31-34頁)

(4) 卒業資格最低修得単位 (『履修要項』33頁)

※メジャー要件科目《つづき》

① 経済学・経営学メジャー

概念図



1年次はまだメジャーは決定していませんので、将来のメジャー選択を想定して履修してください。調整もありえますので、両メジャーにわたって履修される方が多いようです。

別表 メジャー必修科目 *メジャーによって履修年次・単位数等が異なります。

メジャー名	単位数	履修年次	科目区分：「必修科目名」と必修単位数の内訳
法学	4	1年	「民法概論」・「政治学概論Ⅰ」
	5	2年以上	「司法制度論」・「法学応用講義」・「法学アドバンスト講義※」
経済学・経営学	4	1年	「経済学概論Ⅰ」・「経営学概論」

※印は1単位科目、無印は2単位科目

2年次配当科目は、2年次にメジャー選択が決定してから履修します。

III カリキュラム説明・第3部

2. 基盤教育科目の履修 (『履修要項』 33頁)

(1) 入門科目 (『履修案内』 15頁・45～46頁・48頁も参照)

① 大学入門ゼミ (1年次前学期、金曜・2講時、2単位)

- ・ 所属クラスや教室は郵送した「**大学入門ゼミクラス表**」で確認。
- ・ 担当教員が**学生担任**になります (『履修要項』 7頁参照)。

※同じ教員が後学期開講の学科基礎ゼミナール (隔週・1単位) を担当します。

② 茨城学 (1年次2・3Q、水曜・3講時、2単位)

- ・ 学科単位でまとまって講堂で聴講します。
- ・ 感染症対策のため、開講形態や場所の変更の可能性があります。

Ⅲ カリキュラム説明・第3部

2. 基盤教育科目の履修 (『履修要項』33頁)

(2) 共通基礎科目 (『履修案内』15～16頁・45～46頁・48頁も参照)

① **プラクティカル・イングリッシュ (PE)** (1～3年次、6単位)

- ・ 1年次は「**Integrated English**」(前学期はⅠ～ⅢのA、火・2と木・1の週2回)
- ・ 所属クラスはセンター試験英語成績などにより決定しますが、受験していない方は「プレイスメントテスト」などを行い決定する予定です。

※所属クラスは**4月27日(月)**にポータル上で発表され、**自動登録**されます(ポータル上の履修登録は**不要**です)。

III カリキュラム説明・第3部

2. 基盤教育科目の履修 (『履修要項』33頁)

(2) 共通基礎科目 (『履修案内』17頁・45～46頁・48頁も参照)

②情報リテラシー (1年次前学期、月・1、月・3、火・3のいずれか、2単位)

- ・習熟度に応じてクラス分けを行いますので4月23日(木)のミニマムガイダンスまでに、郵送した「情報リテラシーアンケート」を参照して、アンケートに回答してください(以下も参照)。

https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=EwOyHonCO0GKuRRvQf_3O7Vcl7cD3cZDk7p_hcCKFTNUNVIBSII5NUhGUzVEOTNQN1VRMzZUVU9RVC4u

III カリキュラム説明・第3部

2. 基盤教育科目の履修 (『履修要項』33頁)

(2) 共通基礎科目 (『履修案内』17～18頁・45～46頁・48頁も参照)

③ **心と体の健康** (1年次前学期または後学期の水・2、1単位)

- ・ 『授業科目一覧』20頁を参照して履修したい科目を選択してください。
- ・ **4月13日(月)～17日(金)**に教務情報ポータルシステムで希望調査を実施し、クラス分けの結果が4月27日に発表(自動登録)されます。
- ・ **5月13日(水) 10:30～大体育館**で**ガイダンス**がありますので、上履きと上履き入れを持参して参加してください。

※後学期開講の科目を履修したい場合も、必ず出席すること。

III カリキュラム説明・第3部

2. 基盤教育科目の履修 (『履修要項』33頁)

(2) 共通基礎科目 (『履修案内』18～19頁・45～46頁・48頁も参照)

④ **科学の基礎** (1年次1Qまたは2Qの火・5、1単位)

- ・ 「統計学入門」または「科学入門」
- ・ **4月13日(月)～17日(金)**に教務情報ポータルシステムで希望調査を実施し、クラス分けの結果が4月27日に発表(自動登録)されます。

※全学教育機構の入学前セルフラーニングの「重要なお知らせ」に掲載された「科学の基礎」に該当する項目をよく見ておいてください。

III カリキュラム説明・第3部

2. 基盤教育科目の履修 (『履修要項』33頁)

(3) リベラルアーツ科目 (『履修案内』19～20頁・45頁・47～48頁も参照)

① 異文化コミ・初修外国語 (1～2年次・3単位)

- ・ 『履修案内』47頁の履修パターンを参考に選択
- ・ 1年次前学期に履修できる科目は「初修外国語Ⅰ」(月・2および木・4、2単位)
- ・ 4月13日(月)～17日(金)に教務情報ポータルシステムで希望調査を実施し、クラス分けの結果が4月27日に発表(自動登録)されます。
- ・ 後学期開講分については、後学期ガイダンス(予定)で説明します。

Ⅲ カリキュラム説明・第3部

2. 基盤教育科目の履修 (『履修要項』33頁)

(3) リベラルアーツ科目 (『履修案内』20～21頁・45頁・47～48頁も参照)

②ヒューマンティーズ・パフォーマンス&アート (1～2年次・3単位)

③自然・環境と人間 (1～2年次・2単位)

④グローバル化と人間社会 (1～2年次・3単位)

- ・これらの科目は前学期に開講されませんので、後学期ガイダンス(予定)で説明します。

基盤教育科目の最終チェック!

III カリキュラム説明・第3部

2. 基盤教育科目の履修 (『履修案内』 36～37頁)

(4) 履修科目の登録

- ・履修科目の登録は教務情報ポータルシステムにより行いますが、自動登録される科目もありますので、改めて確認します。

① プラクティカル・イングリッシュ (PE) → クラス分けの結果が自動登録

② 心と体の健康、科学の基礎、リベラルアーツ科目 (初修外国語)

- ・ 4月13日 (月) ～17日 (金) に教務情報ポータルシステムで希望調査を実施し、クラス分けの結果が4月27日に発表 (自動登録)。

※茨城学、情報リテラシーは、クラスが決定次第、教務情報ポータルシステムを通じて履修登録 (大学入門ゼミも自動登録)

III カリキュラム説明・第3部

3. 専門科目の履修 (『履修要項』 33頁)

- つぎに、専門科目の履修に移ります。
- 専門科目は、2年生からの所属メジャーの決定のために1年次から履修しておく科目（「**メジャー要件科目**」、**『履修要項』 32頁参照**）がありますので、将来の所属メジャーもあわせて検討してみてください。
- まず、次頁の「**卒業資格最低修得単位**」の一覧（**『履修要項』 33頁参照**）をよく見てください。



専 門 科 目 (レ ベ ル 2 ~ 4)	学部基礎科目	12	1年	自学科科目 8 単位必修 他学科科目から 4 単位選択必修
	学科基礎ゼミナール	1	1年	1 科目 (1 単位) のみ履修
	学科専門科目	50	1~4年	50 単位の内、自メジャー科目から 38 単位以上 (メジャー必修科目 (=別表) を含む)、自学科科目からレベル 3 以上の科目 14 単位以上を履修
	メジャー基礎ゼミナール	2	2年	自メジャー科目 2 科目 (2 単位) のみ履修
	メジャー専門ゼミナール	8	3~4年	自メジャー科目 4 科目 (8 単位) を履修
	卒業研究	6	4年	
	計	79		
自由履修	19	1~4年	基盤教育科目 (共通基礎科目「心と体の健康」「科学の基礎」、リベラルアーツ科目のみ)、全学共通科目、専門科目 (他学科、他学部開講科目を含む)	
総計	124			
注：卒業要件として別掲サブメジャー・プログラム (いずれか一つ) の必要単位を含んでいることが必須となります。				

III カリキュラム説明・第3部

3. 専門科目の履修 (『履修要項』 33頁)

(1) 学部基礎科目 (12単位)

メジャー要件科目としても説明しました

① 自学科科目8単位

- ・ 「入門法律学Ⅰ」 「入門法律学Ⅱ」 (各2単位)
- ・ 「経済学・経営学概論Ⅰ」 「経済学・経営学概論Ⅱ」 (各2単位)

② 他学科科目から4単位 (「授業計画」 17頁参照)

・ 現代社会学科開講4科目

「国際学・地理学入門」(1Q) 「社会学・政治学入門」(2Q)

「マスメディア入門」(1Q) 「電子メディア入門」(2Q)

・ 人間文化学科開講3科目 ↓《次頁参照》

III カリキュラム説明・第3部

3. 専門科目の履修 (『履修要項』 33頁)

(1) 学部基礎科目 (12単位)

② 他学科科目から4単位 (「授業計画」 17頁参照)

・ 人間文化学科開講3科目《つづき》

「文芸・思想入門」(1Q) 「総合歴史学入門」(1Q)

「入門人間科学」(2Q)

※他学科科目4単位は希望により履修を調整します。

・ 他の2つの学科からそれぞれ1科目

・ 各クォーターにつきそれぞれ1科目

調整に漏れた場合に備えて、
第2希望も事前に検討しておく

→たとえば、「国際学・地理学入門」(1Q)と「入門人間科学」(2Q)

III カリキュラム説明・第3部

3. 専門科目の履修 (『履修要項』 33頁)

(1) 学部基礎科目 (12単位)

※ 「他学科学部基礎科目の履修申告票」を提出 (4月23日〔木〕)

→ 抽選に漏れた場合は他の科目を履修

※ **事前に希望する科目を検討**しておいてください。

※ 学部基礎科目については 「履修申告票」の提出は不要です。

(2) 学科基礎ゼミナール (1単位)

・ 大学入門ゼミの担当教員により、後学期隔週で開講

※ 教員により **開講の曜日講時**が異なります。

III カリキュラム説明・第3部

3. 専門科目の履修 (『履修要項』34頁)

(2) 学科専門科目 (50単位) ーメジャー必修科目ー

① 「民法概論」 「政治学概論Ⅰ」

または

② 「経済学概論Ⅰ」 「経営学概論」

} 3・4Q開講

※前述した、メジャー選択のためのメジャー要件科目でもあります。

※余分に履修した科目は学科専門科目の50単位になりますので、

メジャー選択を想定して4科目とも履修する方が多いです。

※詳しくは後学期ガイダンスで説明します。

III カリキュラム説明・第3部

3. 専門科目の履修 (『履修要項』33頁)

(3) メジャー基礎ゼミナール (2単位)

- ・ 2年次に「メジャー基礎ゼミⅠ」(前学期)、「メジャー基礎ゼミⅡ」(後学期) ≪各1単位≫を履修

※所属メジャーごとに希望に応じてクラス分け(詳しくは来年度)

(4) メジャー専門ゼミナール (8単位)

- ・ 所属メジャーの開講ゼミナールから希望に応じてクラス分け

※2年次の後学期に選択します。

(5) 卒業研究

- ・ メジャー専門ゼミの教員の指導のもとで作成します。

Ⅲ カリキュラム説明・第3部

3. 専門科目の履修 (『履修要項』33頁)

(6) 自由履修 (19単位)

- ・ 基盤教育科目 (共通基礎科目「心と体の健康」「科学の基礎」リベラルアーツ科目のみ)、全学共通科目、専門科目 (他学科、他学部開講科目)

※ **サブメジャー** (副専攻) プログラムの履修によって、これらが学
科専門科目や自由履修科目に振り分けられて、必要単位数に充足
されていきます。したがって、意識して自由履修科目を履修しな
くても大丈夫です。

※ サブメジャープログラムについては次頁を参照してください。

III カリキュラム説明・第3部

3. 専門科目の履修 (『履修要項』44頁～)

(7) サブメジャープログラム

①サブメジャープログラムには、自メジャー以外の他メジャープログラム(※1)のほか、サブメジャー固有プログラム(※2)の2つがあります。

※1) 他メジャーのメジャープログラムを16単位以上履修することにより、サブメジャープログラムの履修とすることができます。

※2) サブメジャー固有プログラム (『履修要項』44頁以下参照)

- ・ 人文社会科学部地域志向教育プログラム
- ・ 行政マネジメント研究プログラム
- ・ グローバル英語プログラムその他

あとで詳細な説明があります。

III カリキュラム説明・第3部

3. 専門科目の履修 (『履修要項』44頁～)

(7) サブメジャープログラム

②各メジャーの**推奨**サブメジャープログラム (『履修要項』35頁・36頁)

- ・ 法学メジャー：経済学・経営学サブメジャープログラム、行政マネジメントプログラム、人文社会科学部地域志向教育プログラム
- ・ 経済学・経営学メジャー：行政マネジメントプログラム、法学サブメジャープログラム、国際・地域共創プログラム

※各プログラムの詳細は、『履修要項』44頁以下の説明も参考にしてください。

Ⅲ カリキュラム説明・第3部

3. 専門科目の履修 (『履修要項』44頁～)

(7) サブメジャープログラム

③履修年次

- サブメジャーは3年次初頭に決定しますが、プログラムの中には**1年次から履修できる科目**もあります。
- プログラムには他のプログラムと共通する科目が多く含まれますので、最初は複数のプログラムから単位を履修しながら絞り込んでいくことも可能です。
- 1年生のうちから**4年間の学び**を想定して履修計画を立てることが重要です。

IV 大学入門ゼミと学生担任

(1) 学生担任 (『履修要項』7頁)

①1年次の担任

- ・ 前学期：大学入門ゼミ担当教員
 - ・ 後学期：学科基礎ゼミ担当教員
- } 同一教員が
担当します

※大学入門ゼミのクラス（担当教員）は、郵送した「**大学入門ゼミクラス表**」に掲載してあります。学籍番号から自分の担任を確認しておいてください。

IV 大学入門ゼミと学生担任

(2) 履修および学生アドバイザー (『履修要項』7頁)

②履修アドバイザー

- ・各メジャーやサブメジャー・プログラムの履修方法やカリキュラムについて相談できます。各メジャー主任が担当します。
- ・法学メジャー：高橋先生（主任）、付先生（副主任）
- ・経済学・経営学メジャー：清山先生（主任）、長田先生（副主任）

IV 大学入門ゼミと学生担任

(2) 履修および学生アドバイザー (『履修要項』7頁)

③ 学生生活

- ・ 担任が対応しきれない**学生生活上の問題**について相談できます。学科の学生委員が担当します。4月23日（木）のミニマムガイダンスで紹介します。

【追加補足】 事前に学生担任の先生から、教務情報ポータルシステムを通じた連絡や、感染症対策、授業開始にあたり心得ておいて欲しいことについて周知があると思いますので、指示にしたがって自発的に対応するようにしてください。

V 授業時間割の作成と履修相談

1. 授業時間割作成

- ・ それでは次に、郵送した「**新入生ガイダンス時間割作成シート**」を使って、1年次に履修する授業科目の時間割表を作成してみましよう（フォーマットのひな型は次頁参照）。
- ・ 詳しい入力の仕方は「**1年生時間割作成シートの記入手順**」に記載した通りですが、その概略を次次頁以下に転載しておきました。4月23日（木）のミニマムガイダンスに持参して確認してもらいますが、修正などもありますので、鉛筆などで記入してください。

※授業が開講されていない時間は授業外学修にあてます。**すべての時間を埋める必要はありません**（予習・復習時間が必要です）。

V 授業時間割の作成と履修相談

1. 授業時間割作成

「時間割作成シート」のひな型です

前学期	月	火	水	木	金	
1 講時	1Q	(教室:) (Co.:)	入門法律学Ⅰ (教室:) (Co.:)		IE () (教室:) (Co.:)	
	2Q					
2 講時	1Q	(教室:) (Co.:)	IE () (教室:) (Co.:)	(教室:) (Co.:)	入門法律学Ⅰ (教室:) (Co.:)	大学入門ゼミ (教室:) (Co.:)
	2Q					
3 講時	1Q	(教室:) (Co.:)	(教室:) (Co.:)			
	2Q			次級学 (教室:) (Co.:)		
4 講時	1Q				経済学・経営学入門 Ⅰ (教室:) (Co.:)	
	2Q		入門法律学Ⅱ (教室:) (Co.:)	(教室:) (Co.:)	経済学・経営学入門 Ⅱ (教室:) (Co.:)	
5 講時	1Q	(教室:) (Co.:)	経済学・経営学入門 Ⅰ (教室:) (Co.:)			
	2Q	(教室:) (Co.:)	経済学・経営学入門 Ⅱ (教室:) (Co.:)		入門法律学Ⅱ (教室:) (Co.:)	

【摘要】

基盤科目は斜体
専門科目は太字

専門科目の教室は
『授業計画』
の授業時間割参照

V 授業時間割の作成と履修相談

1. 授業時間割作成

(1) 手順

- ① 「1年生時間割作成シートの記入手順」にしたがって、クラス（曜日・講時）の決まっている「大学入門ゼミ」「茨城学」から入力します（教室・時間割コード）。
- ② 「プラクティカル・イングリッシュ」、「情報リテラシー」、「心と体の健康」、「科学の基礎」は、クラスが発表されてから入力してください（IA/IIA/IIIAなどの名称・教室・時間割コード）。
- ③ 自学科学部基礎科目（教室・時間割コード）→自学科分
- ④ 他学部学部基礎科目（教室・時間割コード）→希望調整による

※分からない部分は空欄にしておいて結構です。

V 授業時間割の作成と履修相談

1. 授業時間割作成

(2) ミニマムガイダンス

- ・ 4月23日（木）のガイダンスは、感染症対策のため、大学入門ゼミのクラスごとに分かれて実施します（**場所・時間に注意**）

学科（日時）	大学入門ゼミ担当教員名	場所
法律経済学科 4月23日 13:00-14:40	荒木	人文社会学科講義棟11番教室
	掛貝	
	加藤	人文社会学科講義棟15番教室
	後藤	
	陶山	
	高井	人文社会学科講義棟10番教室
	高橋	
	土屋	

V 授業時間割の作成と履修相談

2 . 履修相談

(2) 履修相談日

- ・ 4月23日（木）のガイダンスを受けて、分からない部分について4月24日（金）に教務委員が履修相談にあたります。
- ・ 上記以後の（履修申告期間中の）履修相談は、大学入門ゼミの担当教員が指導します。第1回目の授業が履修指導の回ですが、それ以外で必要があれば、各教員にメールで照会するか、オフィスアワーなどを利用して聞いてみてください。

※令和2年度教室オフィスアワー等一覧→ [『授業計画』6頁以下](#)参照

VI 施設案内



- 最後に人文社会科学部の講義棟と水戸キャンパスの配置について説明します。
- ミニマムガイダンスの前後や授業が始まる前などに確認してみてください。
- 以下は、『**専門科目の授業計画**』巻末の「V. 教室・演習室等配置図」参照を参照してください。



VI 施設案内

『専門科目の授業計画』巻末、
「V. 教室・演習室等配置図」参照

(1) 施設案内ーその1ー

①人文図書室・デジタルサポート室 (B306)

②ラーニング・commons (A319) } グループ学修・自主学修
③自習室 (A322) } にご利用ください

④学修支援室 (A114) → レポートボックス・シラバス配置

(2) 施設案内ーその2ー

- ・共同研究室 (A216) → グループ学修にご利用ください (学科専用ですが、他の学生と共同利用になります)

VI 施設案内

(3) 講義棟

- ①基盤教育科目→教室名に「**共通**」と記載のある授業は、共通教育棟で行います（『**大学共通教育科目開講授業科目一覧**』参照）。
- ②専門科目→『**専門科目の授業計画**』巻末の授業時間割に記載されている教室は、特に断りのない限り、人文社会科学部の講義棟またはA～C棟で行います（同巻末：教室・演習室等配置図参照）

(4) 掲示板

- ①基盤教育科目→共通教育棟2号館前の掲示板参照
- ②専門教育科目→人文社会科学部B棟前掲示板参照

地図は
次頁！

VI 施設案内

教務情報ポータルシステムも閲覧してください。

共通教育棟
掲示板
(基盤教育)



人文社会科学部
掲示板
(専門教育)

最後に

お疲れさまでした。
4月23日のガイダンスまでに以下の確認をお願いします。



※ お願いしたいこと

- 以上の**セルフラーニング**について十分ご理解いただけたでしょうか。不明な点は、4月23日（木）のミニマムガイダンスや翌日の履修相談、学生担任の先生からの履修指導を通じて解消するようにお願いします（極力、事務の訪問は回避してください）。
- 授業開始までに、大学入門ゼミで学修する『**茨城大学での学修の手引き**』に目をとおしておいてください（以下から参照可）

全学教育機構入学前セルフラーニング→共通教育→ガイドブック類→「**H31・R1茨城大学での学修の手引き**」または、

http://www.lae.ibaraki.ac.jp/general_education/guidebooks/index.html

令和2年度 新入生ガイダンス

セルフ
ラーニン
グ版

分からなかったところは、4月23日のガイダンスで聞いてください。